

営繕のあゆみ2005



沖縄県女性相談所（那覇市）



沖縄県土木建築部施設建築課

営繕のあゆみ2005

－ 第21号－

目 次

発刊にあたって	
＜業務概要＞	
1. 業務の目的	5
2. 業務の概要	5
3. 年度別業務量の推移（平成11年度～17年度）	6
4. 平成17年度営繕業務の契約概要	8
5. 平成17年補助事業等設計審査の概要	8
＜完成建物＞	
特集施設 1 沖縄県農業研究センター（新設）	13
特集施設 2 沖縄県女性相談所（改築）	16
特集施設 3 県営屋宜原団地（新築）	19
特集施設 4 県営渡橋名団地（第2期・建替）	21
特集施設 5 県営志真志団地（第2期・建替）	23
特集施設 6 豊見城団地地区改良事業（第1期）	24
特集施設 7 県立中部工業（美来工科）高校（増改築）	25
＜主要建物＞	
農林水産部 C S S実証プラント新築工事	27
文化環境部 県立芸術大学第3キャンパス改修工事	28
土木建築部 宜野湾マリーナ管理棟新築工事	29
首里城公園トイレ新築工事	30
教育庁 南風原高校校舎増改築工事	31
真和志高校屋内運動場及び武道場増改築工事	32
＜工事記録＞	35
＜資料＞	
◇事務分掌と組織（平成17年度）	52
◇事業・事務手続きの流れについて	53
◇平成17年度工種別・部局別 完成ベース工事費	54
◇沖縄県行政機構図	55

特集施設 1 沖縄県農業研究センター（新設）

沖縄県農業研究センターは、21世紀の特色ある地域農業振興を目指し、各専門分野における実用的基礎研究、素材研究、技術の体系化・総合化を実施する技術開発を行うとともに、開発された技術の速やかな普及を図り、農業生産の担い手を支援・誘導する技術交流、東南アジアなど、南に向けた農業技術協力の拠点として建設することを基本理念として建設された。

施設概要

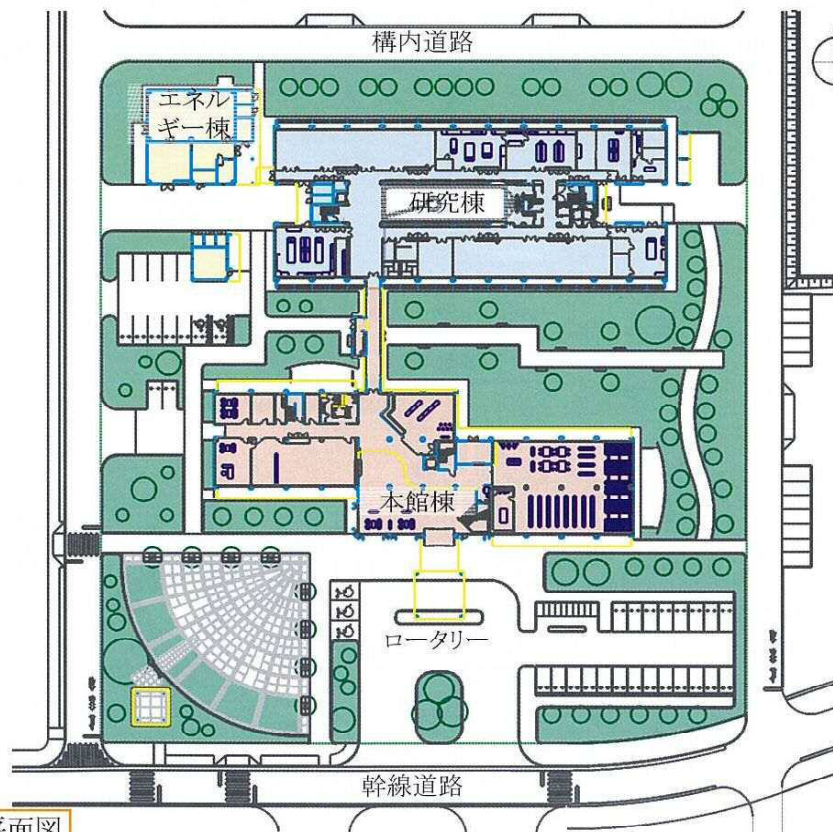
所在地：糸満市字真壁地内

敷地面積：約55ha

建設工事：平成15年12月～平成18年3月

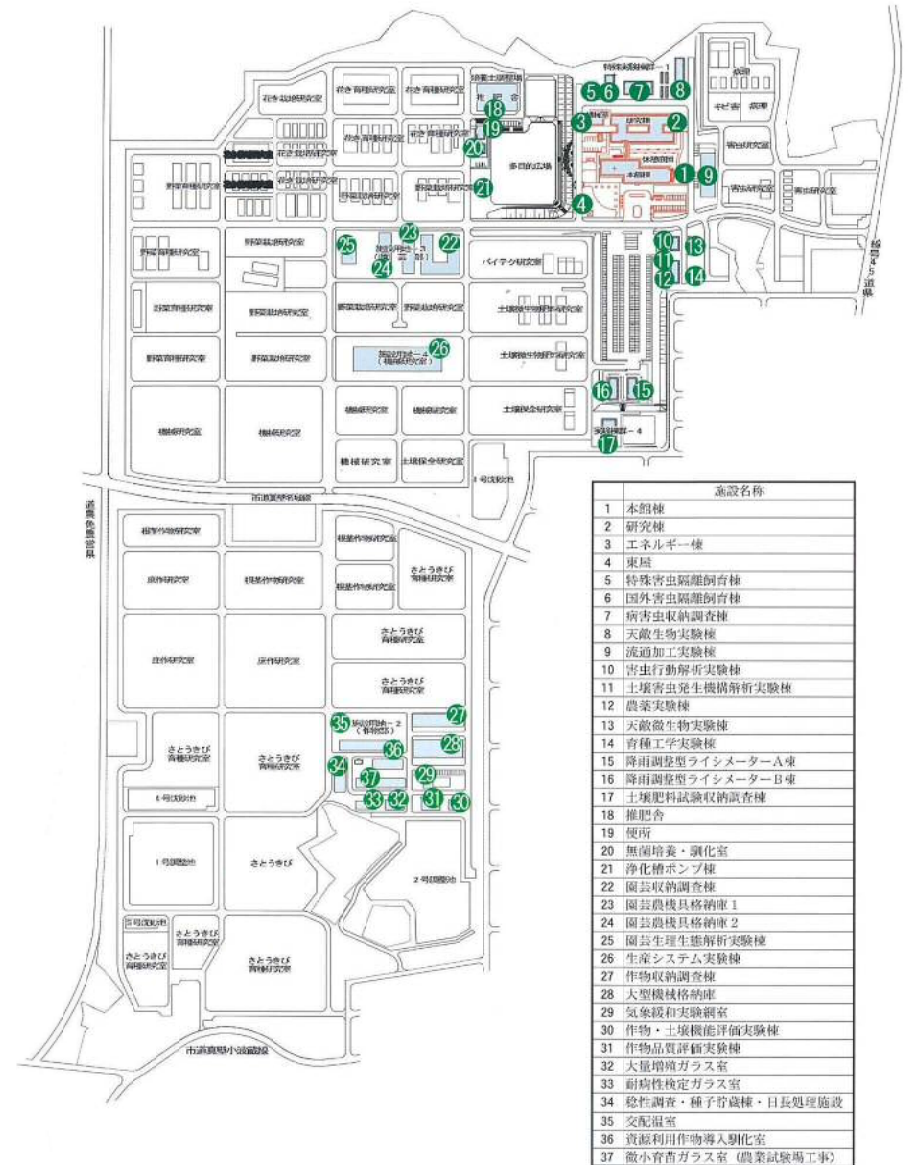
建設概要：本館棟、研究棟、実験棟等35棟

施設総延べ床面積：19,043.83㎡



配置兼1階平面図

航空写真





昭和47年に建設された旧女性相談所の建物が32年も経過し、相談者は当時より5倍近くにも増えていた。建物は老朽化し、相談者数に比べ取容部屋数が足りず常に満室状態で、定員オーバーすることもあった。又、バリアフリー対策のための設備も整っておらず、情報化対応の設備も乏しい。このような事柄を改善する目的として全面的に改築整備したものである。

■基本方針

本計画施設は、さまざまな悩みを抱える女性の相談窓口として、より良い環境をつくることを目的とした施設である。また、高齢社会にともない相談者も高齢化しないとも限らず、障害を持った方への対応や子供達が利用する際に、良い環境を提供できる施設を目指して、以下に示す理念を主な基本方針として検討を行った。

- 相談室や一時保護室を設置、部屋不足を解消し、被害者が相談しやすい環境をつくる。
- セキュリティの強化で利用者の心身の安全を図る。
- 学習室や保育室を備え、同伴児童の教育や心理的なケアの機能を持たす。
- バリアフリーはもとより、ユニバーサルデザインを目指した施設とする。
- 障害者被害者用の居室を設置。

■利用者への配慮

近年社会経済情勢や生活意識の変化に伴い、売春問題にとどまらず、配偶者やパートナーからの暴力や借金、アルコール、ギャンブル、薬物依存症等が絡む深刻な離婚・経済・家庭問題が浮上ってきており、DV（ドメスティックバイオレンス）が年々増加傾向にある。

配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護を図るため、沖縄県立女性相談所は「配偶者暴力相談支援センター」として相談窓口があり、同伴児童に対する対応もできる施設です。

平成17年8月完成しました。

施設概要

所在地	那覇市		
建設工事	平成17年1月～平成17年8月		
構造・階数	鉄筋コンクリート造、地上2階建		
敷地面積	2,686.38㎡		
建築面積	671.42㎡		
床面積	1階:602.08㎡	2階:594.00㎡	塔屋階 48.51㎡
延床面積	1,244.59㎡		



娯楽室



保育室・プレイルーム



中庭



居室 入口 洗面台



居室



シャワー室



多目的トイレ



洗濯室



トイレ手洗い



県営屋宜原団地は、人と人とのつながり、ふれあいを取り入れることのできる団地づくりと入居者の方が、快適に生活できる空間づくりを目指した。

施設の計画は、団地中央に緑の広場を設けることになり、地域住民との交流と共生を生む団地になるよう計画した。

施設概要

- 所在地 : 八重瀬町字屋宜原（屋宜原土地区画整理地内）
- 建設工事 : 平成16年3月～平成17年10月
- 構造・階数 : R C造 地下1階 地上5階
- 総戸数 : 60戸
- 延床面積 : 5,167.2㎡



設計コンセプト

○配置計画

建物配置を扇形にすることで、住戸のプライバシー及び日照・通風の確保を図り、敷地南側に広場を設けることで周辺住民への圧迫感を和らげるよう配慮した。

また、北側に駐車場を配置し、人と車の動線を分離し、安全を確保するとともに、南側広場は地域との交流や多様な人々が利用可能な広場とした。



○住戸計画

各住戸は、バルコニー及び共用廊下側開口部からの通風・採光を確保し、プライバシーを確保しつつ、開放感のある間取りとした。

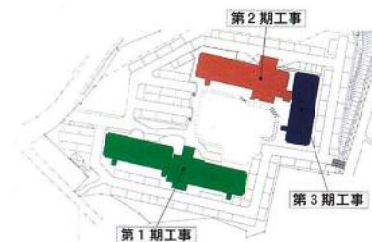
身障者用住戸については、各室及び水回諸室をバリアフリーとし、玄関、バルコニーなど外部につながる境界も段差をなくし、自立生活を支援する間取りとした。



1. 建替事業概要

沖縄県では、平成6年に「沖縄県公共賃貸住宅建替促進計画」を策定し、既存公営住宅のストック更新及び公営住宅敷地を有効利用しながら居住環境の整備を図り、老朽化した公営住宅の建替を積極的に促進していくこととしている。

県営渡橋名団地はこの促進計画に基づいて建替を重点的に推進すべき団地として指定を受けており、平成10年度の再生団地計画の策定、平成12年度の基本・実施設計を経て平成13年に県営住宅では、県営平良団地に次ぐ2例目となる建替工事に着手している。



第1期工事（平成13年度～平成14年度）： 80戸除却 117戸建設
 第2期工事（平成15年度～平成17年度）： 130戸除却 76戸建設
 第3期工事（平成17年度～平成19年度）： 40戸除却 60戸建設